

# 総会に当って

燧会の現状及び改革について理事会の方針を述べさせていただきます。どうかご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

2009年11月7日

燧会会長

前田 敏彦

# 何処へゆく燧会？ どうする燧会？

- ・母校がまもなく開校50周年を迎えようとしている今燧会は5千人を越え、宇宙のビッグバンの如く、時空を拡大し続け、ここに至ってその膨張は燧会の存在(理念)が忘れ去られるレベルにまで達している。
- ・この自然拡大が今後続く事は誰にでも想像できる。
- ・今、我等は赤心をもって燧会に求心力を構築しこの現状に秩序と期待と親愛をもたらす必要がある！
- ・その為に今やっておかなければならない事がある。

# 改革に対する基本的事項

現状認識！

燧会を解散するか、現状継続するか、改革すべきか？  
燧会を解散してしまったら誰か困るか？と自問自答し多くの  
人にも聞いてみた。結論として過去の経緯を振り返った時今  
改革を為さなければ燧会はこのまま時空に埋没する運命に  
あり、改革を進める事がベターだとの結論に至った。

理念は？

理念は何ら変更する事なく継承した。

どう活性化するか？

理事会と代議員会で切磋琢磨し燧会を活性化する。

今回の改革で十分か？

ベストには程遠い段階である。石段を一步登ったに過ぎない。

理事会を活かすも殺すも代議員次第！

今回の理事会の提案を承認する事が出来る方はお集まり  
の代議員諸氏以外に無し。

# 改革のプロセス

## 現状

- ・燧会の拡張下の冬眠
- ・会則違反
- ・仕組みが陳腐化
- ・成り行き管理
- ・会員から忘れ去られた会

## 改革

- ・理念の確認
- ・原況にフィットした会則に見直し
- ・理事会機能の強化
- ・総会開催(代議員機能の確立)
- ・予算管理方式の導入

## 改革後のかたち

### 理念復活

理事会

代議員会

\* 二つのツールで切磋琢磨

- ・合理的な予算管理手法の導入
- ・具体的年間施策の計画展開
- ・結果の総括と修正
- ・健全財源の確保及び維持
- ・会員から期待される燧会に変身

## キーワード; 時代の変化に対応すべき基本事項の正常化と組織の拡張及び活性化

- 1、**会員資格の拡張 卒業生から在校生へ拡張**  
理由 ・早くから燧会の存在を知って貰う。  
・入学するも卒業しない仲間とのリンク。
- 2、**規定の見直し 時代にあった会則への転換**  
理由 ・会則の変更(S52年改定の会則を改定し時代に整合させる)  
・会則の詳細を補完する為の会則の下位規定の制定  
・会費の改定
- 3、**総会の開催 会則に定められた総会の開催**  
理由 ・会則に定めるところの総会の開催  
・総会の構成員である代議員制度の充実
- 4、**理事会の機能の確立 理事会の責任と権限の確立**  
理由 ・理事会と総会の関係の明確化  
・理事の役割分担の制定
- 5、**年間事業計画及び予算制度への転換 成り行き管理から予算管理への転換**  
理由 ・理事会提案と総会承認に基づく事業の予算管理  
・結果の総括と修正
- 6、**組織の整備 時代を反映した組織の活性化**  
理由 ・支部活動の個性化、活発化
- 7、**開校50周年事業への準備 2012年開催の50周年イベントへの準備**  
理由 ・具体的事業の提言と予算の確保

# 会則変更の概要説明

情報発信の方法変更

会員資格の拡大、及び除名等会員の義務の厳格化

理事会の機能強化

総会及び会議の明確化(代議員の位置づけ)

財源の管理強化

支部活動の推進